授業科目	航空産業論					単位	2
履　　修	選択	関連資格				ナンバリング	TO31107J
開講年次	2	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-3 DP1-4 DP2-1 DP2-2 DP4-1 DP4-2		
担当教員	角谷　尚久						
授業概要	航空産業は第二次世界大戦後に急速に発達した産業である。本講義においては、航空産業や旅行産業での25 年以上の実務経験を活かして、本国の航空産業を中心として、歴史や産業構造・将来性などを教授する。具体的には各国の航空輸送の制度や市場動向、国際間での競争、国内外での他産業との競合、路線特性や経営方法、規制緩和にによる LCC 出現やその将来性について、事例研究ならびに各種映像を用いて俯瞰する。 状況により外部講師を招聘し行う場合がある。 本科目は講義形式にて行うがアクティブラーニングの手法を取り入れ、毎講義ごとにレスポンスシートの提出を求める。 進行状況により、シラバスの変更を行う場合がある。						
学生が達成すべき行動目標	1　航空業界の現状と課題を理解できる。 2　航空業界の現在の取組みを理解できる。						

達成度評価

評価と評価割合／評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	50	0	0	0	30	20	100	
知識・理解（DP1-1）	10						10	
知識・理解（DP1-2）								
知識・理解（DP1-3）	5						5	
知識・理解（DP1-4）	5						5	
思考・判断（DP2-1）	10				10		20	
思考・判断（DP2-2）	20				20		40	
関心・意欲（DP3-1）								
関心・意欲（DP3-2）								
態度(DP4-1)						10	10	
態度(DP4-2)						10	10	
態度（DP4-3）								
技能・表現（DP5-1）								
技能・表現（DP5-2）								
技能・表現（DP5-3）								

具体的な達成の目安

理想的レベル	標準的なレベル
1　航空業界の現状と課題を理解できる。 2　航空業界の現在の取組みを理解できる。	1　航空業界の現状を理解できる。 2　航空業界の現在の取組みのうちの 7 割程度を理解できる。

授業計画

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)

1	オリエンテーション シラバスの内容、講義の進め方、受講上の注意の説明	講義	予習	60
2	航空輸送の歴史	講義	当該部分の予習復習	60
3	シカゴ体制と自由化の流れ	講義	当該部分の予習復習	60
4	日本の空港の現状と課題（1） 日本の空港制度と政策	講義	当該部分の予習復習	60
5	日本の空港の現状と課題（2） 地方空港と地域経済	講義	当該部分の予習、復習	60
6	航空運送業の特徴（1） ①航空運送業の特徴 ②旅客需要の特徴	講義	当該部分の予習、復習	60
7	航空運送業の特徴（2） ①安全運航 ②生産性	講義	当該部分の予習、復習	60
8	アライアンス（航空連合）	講義	当該部分の予習、復習	60
9	ネットワーク戦略とアライアンスについて	講義	当該部分の予習、復習	60
10	プライシングとレベニューマネジメント	講義	当該部分の予習、復習	60
11	航空会社のマイレージ戦略	講義	当該部分の予習、復習	60
12	日本の 2 大航空会社	講義	当該部分の予習、復習	60
13	航空貨物について	講義	当該部分の予習、復習	60
14	LCC（格安航空会社）の台頭と特徴	講義	当該部分の予習、復習	60
15	まとめ、及び試験	講義	当該部分の予習、復習	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				

理解に必要な予備知識や技能	専門用語が多いので、事前に参考図書などに目を通し身につけること。
テキスト	適時レジュメを配布する。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「航空事業論」井上泰日子、日本評論社 「現代の航空輸送事業」 三田譲　同友館 「エアラインビジネス入門」 稲本恵子　編著　晃洋書房
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	人文、社会科学系の学部の学生が学修する航空業・ビジネスは、近年「運輸業」ではなく「サービス業」の範疇と言われている。この特徴的業種のビジネスの現状と課題をしっかりと学ぶこと。それには、関連する新聞記事やテレビ番組などを日頃から見ておくことが重要。
達成度評価に関するコメント	定期試験　50％、レスポンスシート30％、授業態度20％とする。レスポンスシートについては、授業毎の提出とする。